

個人所有ノートパソコンを用いた BYOD[※]型授業について

※BYOD=Bring Your Own Device :「自分の機器を持参する」

今日の無線通信設備の普及やデジタル環境の整備に伴い、ノートパソコンなどの私物の情報機器を持参し、様々な場面、目的にあわせて活用すること。

1. ノートパソコンの準備について

北海商科大学においては、昨今の BYOD 体制の広がりに対応して、学生各自に大学に持参することのできるノートパソコンの購入を推奨しております。必ずしも購入を義務付けるものではなく、また現時点ではノートパソコンを使用する科目は一部の選択科目に限られますが、今後社会のデジタル化はますます進むことなどから、ICT（情報通信技術）教育の一環として本学では学生が自身の情報機器を大学に持参し、デジタル環境に日頃から慣れ親しむことが重要と考えています。

なお、BYOD 型授業のために本学でノートパソコンを貸し出しするなどの対応はしておりません。ノートパソコンをご用意されるにあたって、以下の要件をご確認ください。

- OS：ベンダーサポートを受けているもの（Windows であれば Windows 11 のみ）
- インターネット：学内無線 LAN（Wi-Fi）に接続可能なもの
- ウイルス対策ソフト：ウイルス対策ソフトのインストールを必須としています（各自用意）
- ソフトウェア：Microsoft 365（Word, Excel, PowerPoint 等）は大学が無料で提供

2. 北海商科大学 学生向け Microsoft 365 の無料付与について

2026 年度より、入学生を含めた本学在籍の全学生に有料版の Microsoft 365（Word, Excel, PowerPoint などのデスクトップアプリ）の使用権限を無料で付与します。これらは北海商科大学の個々の学生アカウントに紐づけられたものであり、自分が所有するパソコンにインストールし卒業するまで使用することができます。学生 1 名につき、パソコン（Windows/Mac 合わせて）5 台＋タブレット 5 台＋スマートフォン 5 台の合計 15 台までインストール可能です。

3. BYOD 型授業一覧について

現在、ノートパソコンを使用する授業は一部の選択科目が中心です。パソコンを使用する科目を履修するかどうかは、学生自身が選ぶことができます。BYOD 型授業に関して、本学ではノートパソコンの特定のブランドや機種を推奨することは致しませんので、下記の「BYOD 型授業一覧」を参考に、自分で用意するノートパソコンが条件等に見合うものかどうかご確認ください。授業の中にはキーボード付きタブレットによる代用を認めないものもあるのでご注意ください。

なお、北海学園生協からのパソコン等に関する案内は生協からのおすすめであり、北海商科大学が機種を指定しているものではありません。

4. スマートフォンの必携について

本学は、授業毎に学生自身のスマートフォンアプリの respon を用いて出席登録を行うため、スマートフォンの携帯が必要となります。アプリの登録および使用方法の説明は、入学式以降の新入生オリエンテーションで行いますので、スマートフォンを必ずご持参ください。

本件に関する問い合わせ先
北海商科大学 教務センター
電話番号：011-876-0153

北海商科大学 2026年度 ノートPCによるBYOD型授業一覧

教員名	学生持参のノートPCを用いたBYOD型授業を実施する科目名	ノートPCの使用頻度	スペックやOS (windows, macOS, Chrome OSなど)、ソフトウェアなどの履修に必要な機能上の条件	キーボードを付属したタブレット (iPad, Android等) をノートPCの代用として認めますか？
相浦 宣徳	物流システム論 I・II (2年次後期・3年次前期)	4回～6回	Microsoft365が使用できればOKです。	認めない
	コマース研究ゼミナールI～IV(相浦ゼミ) (2年次後期～)	13回～全ての授業回	OSはwindows, macOSのいずれかです。ソフトウェアはインストール不要です。	認めない
池ノ上 真一	観光景観論 (3年次前期)	13回～全ての授業回	CPUが1.6GHz以上で2コア以上、メモリ8GB以上、ストレージは256GB以上の空き容量、解像度1024x768以上のディスプレイ	認める
	観光地理論 I・II (2年次後期・3年次前期)	13回～全ての授業回		
	環境科学論 (2年次前期)	13回～全ての授業回	CPUが1.6GHz以上で2コア以上、メモリ8GB以上、ストレージは256GB以上の空き容量、解像度1024x768以上のディスプレイ	認めない
伊藤 昭男	観光研究ゼミナールI～IV (伊藤昭男ゼミ) (2年次後期～)	13回～全ての授業回	Word, Excel, Powerpointが利用可能であること	認める
郭 倩	ツーリズム研究 (3年次後期)	13回～全ての授業回	特になし (officeが使えればOK)	認める
	観光研究ゼミナールI～IV (郭ゼミ) (2年次後期～)	13回～全ての授業回	特になし (officeやインターネットが使えればOK)	認める
佐藤 千歳	質的社会調査論A・B (<u>1年次前期・後期</u>)	1回～3回	特になし	認める
	現代中国論A・B (2年次前期・後期)	1回～3回		
澤内 大輔	コマース研究ゼミナールI～IV(澤内ゼミ) (2年次後期～)	7回～9回	マイクロソフトオフィス(ワード、パワーポイントなど)が使えること。	認める
千葉 里美	観光学I (2年次後期)	13回～全ての授業回	特になし	認める
	特殊講義III (北海道創生プログラムA) (3年次前期)	13回～全ての授業回		
	観光ビジネス論 (3年次後期)	13回～全ての授業回		
	観光研究ゼミナールI～IV (千葉ゼミ) (2年次後期～)	13回～全ての授業回		
益子 洋人	生徒・進路指導論 (教職課程2年次前期)	13回～全ての授業回	manabaにアップロードした資料の確認、リアクションシート作成が問題なくできる程度のスペック	認める (スマートフォンも可)
	特別活動論 (教職課程2年次前期)	13回～全ての授業回		
	教育相談論 (教職課程3年次前期)	13回～全ての授業回		
	教育心理学 (教職課程2年次前期)	13回～全ての授業回		
	教師論 (<u>教職課程1年次後期</u>)	13回～全ての授業回		
	教育方法論 (教職課程3年次後期)	13回～全ての授業回		
	教育課程論 (教職課程2年次後期)	13回～全ての授業回		
	職業指導II (教職課程3年次後期)	13回～全ての授業回		
三田村 保	現代社会と情報ネットワークA・B (<u>1年次前期・後期</u>)	13回～全ての授業回	配布された電子ファイル (Microsoft Word、Excel、PowerPointなど)を授業中に編集できることが望ましい。	認める
	観光情報学I・II (2年次後期・3年次前期)	13回～全ての授業回	プラウザベースのソフトウェア「Figma」を授業中に利用できることが望ましい。 動画編集ソフトを授業中に利用できることが望ましい。	
	観光調査論 (3年次後期)	13回～全ての授業回	配布された電子ファイル (Microsoft Word、Excel、PowerPointなど)を授業中に編集できることが望ましい。 統計ソフトRをインストール・利用可能なノートPCの持参が望ましい。	認めない
	観光研究ゼミナールI～IV (三田村ゼミ) (2年次後期～)	13回～全ての授業回	配布された電子ファイル (Microsoft Word、Excel、PowerPointなど)を授業中に編集できることが望ましい。 ゲームエンジンUnityをインストール・利用可能なノートPCの持参が望ましい。	認めない
山口 晴敬	異文化ゼミナール (山口ゼミ) (<u>1年次後期</u>)	4回～6回	パワーポイント	パワーポイントが使用できればOK
	教育実習I・II・III (教職課程3年次後期～)	7回～9回	パワーポイント	認めない
	公民科教育法I・II (教職課程2年次前期)	13回～全ての授業回		
	教育経営論 (教職課程3年次前期・後期)	7回～9回		
	教育原理 (教職課程2年次前期)	7回～9回		